

第3回生駒市森林整備に係る取組方針推進懇話会 会議録（議事要旨）

日時 令和8年3月16日（月） 午後2時～午後4時
場所 生駒市役所大会議室
参加者 相田氏、赤地氏、浅井氏、新居氏、泉氏（座長）、磯貝氏、
染川氏、高橋氏、田中氏、山岡氏
欠席者 東氏、井上氏、小北氏
事務局 谷次長、松井課長、前川主幹、泉係長、地域林政アドバイザー
記録者 株式会社森林コンサルタント奈良営業所（受託事業者）

（1）森林整備実地研修と森林イベントの実施報告

- ・伐採木の残りはどうするのか。
→引き取り手があるものは使ってもらうが、残りはリレーセンター経由でバイオマス発電所に持ち込むこととなる。
- ・竹のバイオマス発電はどうか。
→今のところ難しいと聞いている。ただし生駒市では竹林も問題になっているかと思うので、来年度、竹林問題も1つとして検討できれば。
- ・森林整備実地研修について、参加人数は6名程度だったが、上限10名程度と思っていたのでとても少なかったわけではない。ただ、安全講習会のときにアナウンスができれば今年度の講習会受講生の参加がもう少しあったと思われるのが反省点としてある。
- ・実地研修は機会を提供する意味では、とてもよかったが、整備する場所を作ることに時間を取られてしまったので、整備箇所とフォローアップ研修は分けて考える必要があると感じた。
- ・今回実施した実地研修を踏まえて、きちりとしたボランティアを現場で通用するように仕上げ供給できるように考えないといけない。また人数も5人10人規模ではなく、100人など、生駒山も活用し多くの方が山に入れるようにしていくのはどうか。

（2）取組方針の推進に向けた令和8年度事業について

今後行っていく森林整備に向けた所有者調査・意向調査の方向性について

- ・令和8年度については、実地研修を深化させる目的で実施できればと考えている。
- ・市が行う調査業務の実施範囲については、令和7年度に高山町で試験的に施業を行ったところ、獣害対策（バッファゾーン整備）の観点から、農業者だけでは解決できない課題に着手できた。そのため、引き続き高山町の調査を進めたいと考えている。生駒山エリアについても大規模所有者へのヒアリングを進めている。
- ・令和8年度については、まだ予算は通っていないが懇話会の予算は4回分をとっている。委員についても、このままのメンバーで進められたらと思っている。